保育者の新しいノート　(8)

S.　K.　生

（1）

○教育全面，その中に幼稚園も勿論，制度內容ともに新しくなつた。そのためにわたし達も新しい教育者にならなければならない。それも，たゞ新しい教育を知る必要があるというだけでなく，制度として，わたし達の前からもつている幼稚園保姆免許狀が，すべて假免許狀となつた。勿論今のまゝで幼稚園につとめてはいられるが，いずれは，新しい正規の幼稚園教員免許狀を受けなければならない。その時の資格條件として，認定講習會を修了しておくことが役に立つということである。しかも，それは出席日數もきまつている嚴密のものだということである。

○と聞くと事むつかしい思いがするし，先輩の方々の中には，何十年目でまた勉强かとむつかしい顏をしていられるが，新しくなる途だと思えば，寧ろいゝ氣もちもし，元氣も出る。新しくなろうなろうとは心がけながら自分ひとりでは中々思うように出來ない。それを十日間の講習でして貰えるのだから，都合のいゝことだ。とにかく，自分みずから新しくならないで，新しい教育をすることは不可能である。但し，十日の講習で，すつかり新しくなりきれる譯ではあるまい。これでいとぐちをつけて貰つて，あとは，たえ間なき自己教養によるべきものであろう。

（2）

○いつも人の顏さえみれば，新聞を讀んでるか，讀んでるかと，いわれる園長が，こないだの新聞（七月五日）に出ていた經濟危機の「白書」をよく讀んだろうねと注意された。よくともいえませんが一應見ましたと答えたら，珍らしく，感心だといわれた。實のところ綿密には分らないところもあつたが，成るほどこれでは國もたいへんだと思つた。國がたいへんなのだから，個人のくらしのたいへんなのは，あたりまえだ。おなかのすくのも，しかたのない話だと思つたが，やつぱり，おなかはすく。それにしてもあのいろいろの統計の中で，子どもの身長體重が一年分低下しているという數字は，ほんとうに，ぞつとするような氣がした。そうして，わたしたちの，おなかのすいていることなんか，考えていられない氣がした。この位，國のために心配になることはない。

（3）

○わたしの机の上に，いつも花をおくのを，ぜいたくねえといつた友達がある。でも，わたしの心は，これでどんなにうるおわされていることだろう。大きな立派なのでなくてもいい。こないだ，裏のくさむらに咲いていた露草をとつてきて，あの濃い藍色に，しみじみと，ふかぶかと，うつとりと見入つたことであつた。どんな時でも，自然はうれしい。